

みんなで学ぶTokyo ネット教室 -企業と連携したセーフティ教室-

実践概要

- ・情報を正しく安全に利用するためにはどのようにしたらよいかを考えさせる。
- ・具体的なトラブルを知ることにより、安全なSNSの使い方を理解させる。

本時の流れ

	主な学習活動	○指導上の留意点 ★評価内容等
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●SNS 学校ルールや既習事項を想起する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域が一体となって、児童が安全に生活できるよう気を付けていることを確認する。 ●ゲストティーチャーを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「キャラクター総選挙」で入賞した3作品を基に缶バッジとクリアファイルを作成し、全児童に配付したことを想起させる。 ○缶バッジやクリアファイルを見せ、「キャラクター総選挙」について想起させ、学習への興味・関心をもたせる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●円滑なコミュニケーションについて知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上のトラブルを基に、コミュニケーションに必要な要素や特徴を知る。 ●トラブルが及ぼす影響について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルが起こった際の影響範囲や注意点について知る。 ・警察署生活安全課スクールサポーターから実際の事例を聞き、危機意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○想定される事例を挙げながら、注意点や予防法を確認していく。 ○児童が身近に感じられるように、実際に自分がトラブルに遭ったらという視点で話を聞かせるよう助言する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の振り返りを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★学んだことを自らの行動に生かそうとしている。 ○参加した保護者・地域からの感想を聞く。

ここに注目！（本事例のポイント）



キャラクター総選挙で入賞した作品を提示し、前時までの学習を想起させた。

【授業中の児童の発言】

- 普段自分が行っていることでも、トラブルにつながる可能性があるんだな。
- ツイッターやフェイスブックなど、名前は知っていたけれど、使い方を間違えると、とても危ないことが分かった。
- みんながやっていることだから自分もしていたことのなかに、本当はしてはいけないことがあった。
- 写真1枚で自分の住んでいるところが分かるなんてこわいな。

SNS を運営している企業と連携することで、児童がより興味をもって話を聞くことができた。トラブルは自分にも起こりうることで、これからの生活に生かせるようにする。